

令和4年度第2回 岡崎市美術博物館協議会会議録

1 開催日時及び場所

令和4年2月14日（火）14:04～15:52

岡崎市美術博物館 1階会議室

2 出席委員（定数10名 2名欠席）

会 長	澤 博史	（社会教育・家庭教育）		
	井上 瞳	（学識経験）	長坂 博子	（学校教育）
	石原 真吾	（学校教育）	鈴木 章司	（社会教育）
	林 羊歯代	（学識経験）	菅沼 和子	（市民公募）
	倉光 智子	（市民公募）		

（欠席委員は、太田 公典（社会教育）、加藤 安信（学識経験）2名）

3 館長及び説明のため出席した事務局職員（6名）

社会文化部長	安藤 治樹		
美術博物館長	前島 豊	美術博物館副館長	大澤 一実
地域文化広場館長	三宅 葉子	地域文化広場学芸員	真山 陽理子
美術館長	村松 和明		

4 会議の成立

事務局より、委員10名のうち8名が出席のため、岡崎市美術博物館管理規則第8条第2項の規定により、本日の会議は成立していることを報告した。

5 会議の内容

次第1 報告事項

（1）令和4年度 展覧会開催状況について
議 長＝事務局から説明をお願いします。

事務局＝（令和4年度に実施した美術博物館、地域文化広場の展覧会について、入場者数、各種企画内容等を資料に沿って説明）

議 長＝ただ今の説明について、ご意見・ご質問はありますか。

委員 A = 美術博物館と子ども美術博物館の展覧会の事業費の内訳はどうなっているか。

事務局 = 美術博物館は実施業務、監視警備業務、印刷物製作業務である。地域文化広場の事業費には監視警備業務が入っていない。

委員 A = 子ども美術博物館は経費が妥当で、回収率も高いと思ったが、美術博物館の事業費とは含まれている項目が違うことがわかった。

委員 B = 子ども美術博物館の現在開催中の「わくわく鉄道博物館」では、キャプションが冊子になっていて、あとからでもじっくり読めるのでよい。これからも実施してほしい。

事務局 = なるべくできたらいいとは思っているが、今回はパネル製作の業者が作成してくれたため実施できた。

委員 C = 子ども美術博物館のおもちゃ展に行ったが、職員の方の説明が丁寧で、親切な対応だった。見る側と美術館とのつながりという意味では良いと思う。

委員 A = 職員の方は、監視以外にどのような業務を行っているのか。

事務局 = 子ども美術博物館では、会計年度任用職員が監視警備のほか、チラシやポスターの封入作業、リトルアーティスト展の審査の準備などの業務を行っている。

議 長 = 子ども美術博物館に行った方は皆さん感じると思うが、私も孫を連れて行くといつも丁寧に説明してくれて、ありがたいと思う。

次第 2 議事

令和 5 年度開催予定の展覧会について

議 長 = それでは議事の令和 5 年度開催予定の展覧会について、事務局からの説明をお願いします。

事務局 = (令和 5 年度開催の各展覧会について、開催予定期間、内容等を資料に沿って説明)

議 長 = ただ今の説明について、ご意見・ご質問はありますか。まず美術博物館についてお願いします。

委員 A = 美術博物館の展覧会で、すべて企画展とあり、大河ドラマ特別展は巡回展だ

と承知しているが、ほかの展覧会は自主企画なのか。

事務局＝「THE 禅展」と「リアリズム展」は自主企画である。「王朝の色展」は巡回展ではないが、過去に京都の美術館で似たような展覧会を開催しており、今回改めて企画している。

委員A＝バランスが取れており、ラインナップもよいと思う。

委員D＝「リアリズム展」の説明にある「オム・テモワン」をインターネットで検索してみたところ、古い文献情報と簡単な用語説明くらいしか出てこなかった。どのように紹介してくれるのか楽しみにしている。紹介記事にも、これまで取り上げられてこなかった「オム・テモワン」に光を当てたことを、もっとアピールしてもよいと思う。

委員C＝以前は年間パスポートを発行していたが、来年度はどのようになるのか。

事務局＝美術博物館では今後また休館が予定されているので、当面実施はしない。年間パスポートではなく、展覧会限定のパスポートは設定する。

委員C＝美術館での企画展はなくなったが、美術博物館の展覧会中に美術館の収蔵品を展示することも検討してもらいたい。

委員E＝市議会だよりに村山塊多の件で質問が載っていた。市の文化資産として市民より親しんでもらえるよう広く発信していくとのことだが、市の収蔵品をもっと展示し、市民に広く発信して欲しい。

委員C＝収蔵品、本物を見せるのが美術館だと思うので、検討してほしい。

事務局＝本物を見せること、地元の作家の紹介をすることは大切だと認識している。美術館でも収蔵品を公開して、市民の方に身近に感じてもらえるよう今後検討したい。

議 長＝委員さん方の意見も踏まえて一度よく検討してほしい。

委員E＝市民目線で考えると広報が大事だと思うが、美術博物館は足りていないのではと感じる。季刊誌なども字を大きくして市民にわかりやすくしてほしい。展覧会を含め、内容が分かりにくいものがあるので、工夫できる点があるのではないか。市民に親しまれるためにやれることがあるはず。子ども美術博物館の入館者数は多

いが、市民のニーズとあっているからだと思う。専門家がわかるだけでなく、一般市民でもわかるようもう少し工夫をお願いしたい。

委員D＝ホームページの改善もお願いしたい。全体的に情報が少なく、特に収蔵品の紹介部分は数も少ないうえ、説明がない。写真も掲載されていないものがある。館内に常設展示がないだけに、作品のデータベースを充実させてほしい。ホームページの改善については、過去にも何度か話題に上った。予算等の問題もあるのかもしれないし、問題意識も当然持っておられると思うので、ぜひ優先順位を上げて取り組んでもらいたい。

議長＝広報の在り方、市民目線、内容の工夫が必要だということだが、事務局としてどう考えているか。

事務局＝足りていない点が多いことはこちらでも承知している。いただいたご意見で改善できる点は対応していきたい。

議長＝委員は少しでもよくなって欲しいとの思いから意見を出しており、それが美術博物館の発展にもつながると思うので、できることは全力で取り組んでもらいたい。

委員B＝美術博物館は展覧会だけでなく、環境や建物も良く、展覧会に興味がない人が足を運ぶきっかけになるため、そちらもアピールしたほうがいいと思う。

委員F＝子ども美術博物館の展覧会はタイトルからワクワクするが、美術博物館は大人向けで、子どもにはわかりにくい。子どもも行ってみたいくなるようなキャッチフレーズが必要かと思う。美術博物館周辺はおかざきっ子展の会場にもなっているので、子どもたちが足を運べる場所になるといいと思う。

委員C＝美術博物館に人を呼ぶという点でいつも思うが、交通の便が悪く、気軽に行けないのが問題だ。

議長＝委員Cのご意見は何年来の問題であるが、美術博物館だけでは解決できない大きな問題でもあり、解決は難しい。

委員Fのご意見について、教育現場で先生が子どもたちに魅力を感じる授業を展開し、美術博物館がそれを支えられるような協働の姿勢も取れるといいと思う。

委員B＝展示の内容について、それを好きな人から説明を受けることはとても楽しく、興味をそそられる。専門家ではなく一般の方で、展示についてとても詳しいオタク

のような人がいるので、そのような市民の方にボランティアとして展示解説していただければ、市民にとって身近で、興味の幅を広げる場となるのではないかと。

委員 G = 学校では個別最適化が進んでおり、子どもの個性、興味関心に合わせた授業を進めている。全体で共通のことをやるという機会もどんどん減っている。興味や関心が個々でそれぞれ異なるので、多様な人に合わせて提供していくのは難しくなると思うが、市として長期的にどのような文化をもった都市を目指すかというビジョンが必要かと思う。

議 長 = 皆さんの意見を聞いて大事なことは観客数だけで判断するのではなく、いいものにはきちんと投資し、市民が心豊かに教養を高めていけるよう、筋の通ったものを貫いていくことが大事ではないかと思う。その上で多くの市民に興味をもってもらえるか工夫することが大切なのではないかと感じた。

委員 A = 美術博物館がどのような方向性で行くかという非常に大きな話になっているが、博物館は本来いろんな役割がある。保存、展示、教育、研究などだが、教育普及や地元へ根差した場としても大きな役割を求められてきている。学芸員の数が増えているわけではないので、すべてのことを実施することはできないと思う。教員が教育普及の学芸員として美術館に入ったり、ボランティアを活用している館もあるが、方向性の話をするのであれば、この会議だけでは足りない議論であり、別の場での議論が必要になると思う。

議 長 = 現在の議題は令和5年度の展覧会計画についてですが、ご意見が議題と大きく離れてしまっている。最終的に皆さんのご意見はそこに結びつくものではあるが、美術館博物館の方向性の話という根本的な問題は市で検討すべき大きな問題かと思う。次は子ども美術博物館の展覧会計画についてのご意見・ご質問をお願いします。

委員 G = 今年度子ども美術博物館は体験型の展覧会が多く、家族連れに人気があると思う。また、アール・ブリュット作品も展示されており、本校の子ども作品も飾ってある。子どもたちが思ったことを思ったように表現できる場であり、子どもたちの力を伸ばせる場、市内外を問わず親子が集ってくる場であるという認知度が高まっていると思う。

委員 F = 子どもたちにとって、自分の作品が美術館に飾ってあるということは大きな喜びであり、リトルアーティスト展やアール・ブリュットはとても素晴らしいと思う。今回子ども美術博物館と協力し、過去のリトルアーティスト展の作品を学校のタブレット端末で子供たちが自由に見られるようにした。作品を大切にしながらも授業で活用できるので、美術館でも何かそのようなことができる子どもたち

が足を運ぶきっかけになると思う。

議長＝それでは、ご意見も尽きたようですのでお諮りします。令和5年度に開催予定の展覧会の事務を執り進めることについて、承認してよろしいでしょうか。

(全員承認)

議長＝令和5年度開催予定の展覧会については、承認されました。先程多くの意見が出ましたが、事務局はただいまの意見を踏まえて、来年度予定されている展覧会をよりよいものにするために準備を進められるようお願いいたします。

次に、議事(2)の「令和6年度開催予定の展覧会計画について」事務局より説明をお願いします。

事務局＝(令和6年度開催予定の展覧会計画について、開催予定期間、内容等を資料に沿って説明)

議長＝ただ今の説明について、ご意見・ご質問はありますか。

議長＝先程令和5年度の展覧会計画の際に多くのご意見をいただいたためか、ここではご意見が特にないようですので、ここでお諮りします。令和6年度開催予定の展覧会計画を執り進めることについて、承認していただけますか。

(全員承認)

議長＝令和6年度開催予定の展覧会計画については、承認されました。事務局におきましては、先程までの意見を踏まえて、準備を進められるようお願いをいたします。予定の議事は終了しましたが、「4 その他」について、事務局から何かありますか。

事務局＝特にありません。

議長＝それでは本日の議事はすべて終了しました。

事務局＝以上で令和4年度第2回岡崎市美術博物館協議会を終了させていただきます。本日はありがとうございました。

—以上—